

マキさんと考える 時産をして余裕のある暮らし



【番外編】マキさんが監修! マリモハウスの時産ができる家

時産をテーマにしたマキさん監修の家がついに登場! 時産のポイントが詰まった家づくりに迫ります

text : Hanae Kudo

時産アドバイザー マキさん

シンプルライフ研究家。夫と2人の娘と暮らすワーキングマザー。SNSやYouTubeを通じて心地よく生きるための家事のコツを発信。

<https://www.econaseikatsu.com>
@econaseikatsu.maki



MAKI's COMMENT

「時産の家」にいちばん取り入れたかったスペース。仮置き場があることでリビングの散らかりを防げます

バッグ置き場

郵便物

LDKの収納は
すべてマルチスペースがサポート

宅配便はここへ

時産POINT 1
玄関から続く
マルチスペースで
仮置き場をつくる

玄関からリビングへ向かう途中にマルチスペースを設置。「外出用バッグや郵便物、持ち帰った荷物……など、リビングに“なんとなく”置がちなアイテムはすべてここへ。窓はすりガラスにして光を取り込みつつ、リビングからごちゃつきが見えないようにしています」

過去の記事については、
こちらをチェック!



理想の家を 形にしました

「必要なだけを詰め込んだ、理想の家です」とマキさんが話すのは、暮らしを豊かにする家づくりを提案するマリモハウスとのコラボによって生まれた「時産の家」のこと。マキさん

の「時産」の考え方にマリモハウスが共感したことをきっかけに今回のコラボが生まれたそう。「暮らし始めてからストレスを感じないようにしたい……という私の考えを企画チームの方々が具現化してくれました。ただ暮らすだけで時産が叶い、豊かな時間を生み出せます」

時産POINT 3

空間を仕切りオフの時間を充実

MAKI's COMMENT

時産の工夫によって生まれた時間で存分にリラックスするため、すっきりと整ったリビングをつくりました

MAKI's COMMENT

忙しい家庭では部屋干しや洗濯乾燥機を使うことがほとんど。1か所で完結すれば、大幅に時間を省けます

時産POINT 2

生活動線を 一直線にする

家事の中でも、とくに面倒な洗濯をラクにするため、洗濯、物干し、収納、身支度のスペースを一直線に。「1階で洗濯機を回し、2階に運んで……というのは手間。1階に集約することで毎日の作業がラクになります」

リビング

ダイニング

リビングはあえてダイニングやキッチンと切り離れた独立型に。「家事をするところと空間を仕切ることで、整った状態を無理なくキープでき、心置きなくつるげます」

布団などの大物は
手すりを利用!



物干しのためのバルコニーは不要。布団は天気を気にせず干せる手すりを活用すればOK

MAKI's COMMENT

食材や器を持って移動するのは意外と大変。移動距離を最低限にすることで、キッチンの作業がストレスフリーに

①洗濯

②収納

③着替え

④身支度

①パントリー

②食器棚

③キッチン

子ども部屋は成長に伴って間仕切りができる可変性の高いつくり。「幼少期は共用のキッズスペースとして使い、個室が欲しくなったタイミングで仕切って2部屋に」



可変性の部屋も
2階には2つに分けられる

ここで区切る

